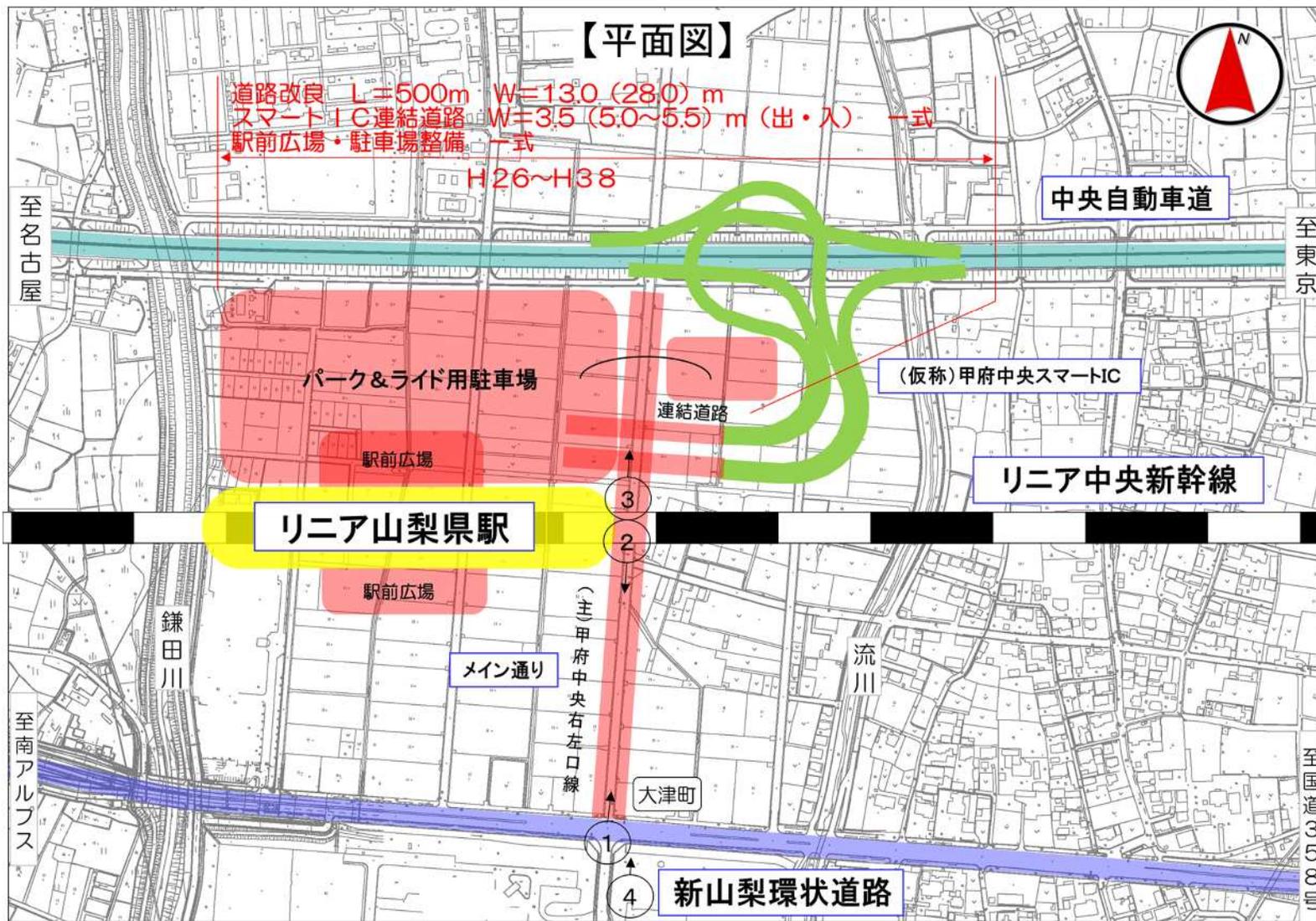


1. 事業説明シート

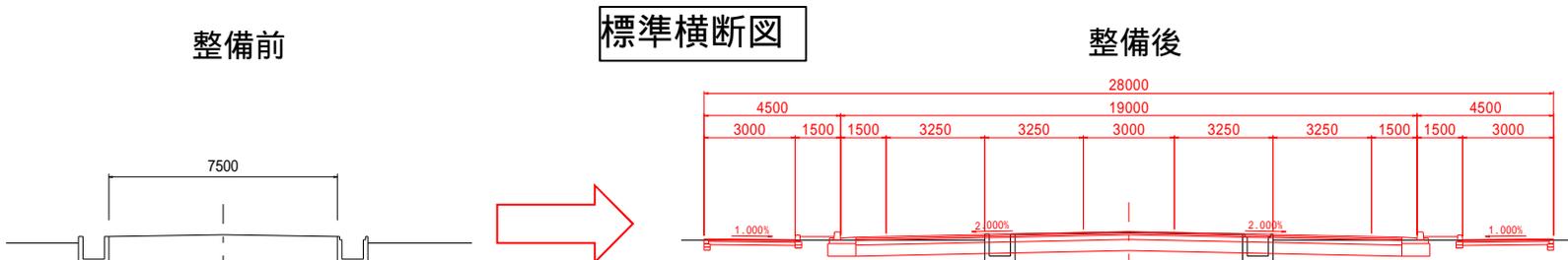
<p>事業名</p>	<p>道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]</p>	<p>事業箇所</p>	<p>甲府市大津町</p>	<p>地区名</p> <p>(主) 甲府中央右左口線 ((仮称) 甲府中央S I C ~ 新山梨環状道路)</p>	<p>事業主体</p>	<p>山梨県</p>															
<p>(1) 事業の概要</p> <p>課題・背景 主要地方道甲府中央右左口線である本路線は、現在新山梨環状道路へのアクセス道路として利用されているが、片側1車線で歩道はなく通勤時間帯には交差点での渋滞が発生している。また、今年8月に連結許可を受けた(仮称)甲府中央スマートICの供用時(平成31年度予定)には連絡道路として、また、平成39年のリニア開業時には駅へのアクセス道路としてさらなる交通量の増加が見込まれている。一方、リニア駅周辺地区では、本路線がメイン通りとしてシンボル性の高い通りとなることから質の高い整備を進めるとともに、交通結節機能となる駅前広場及びパーク&ライド駐車場を一体的に整備することも重要である。 こうしたことから、(仮称)甲府中央スマートICから新山梨環状道路までの円滑な交通を確保するとともに、リニア駅周辺の交通結節機能の強化を図る必要がある。</p> <p>整備目標・効果</p> <p>主要目標 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上</p> <p>副次目標 歩行者等の安全性の確保</p> <p>副次効果 重要プロジェクトとしての位置づけ (山梨県リニア活用基本構想 (仮称)甲府中央SICの整備推進)</p> <p>目標達成の方法 (仮称)甲府中央スマートICと新山梨環状道路の連絡道路及びリニア新駅の駅前広場とパーク&ライド用駐車場の整備を行う。</p>				<p>(3) 中・長期計画等の位置付け</p> <p>第二期チャレンジ山梨行動計画 (H23~H26) 山梨県社会資本整備重点計画-第二次- (H20~H26)</p>																	
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>整備内容 道路改良 L=500m W=13.0(28.0)m スマートIC連結道路 W=3.5(5.0~5.5)m(出・入) 一式 駅前広場・駐車場整備 一式</p> <p>整備期間 平成26年度~平成38年度</p> <p>総事業費 約2,800百万円(国費1,820百万円(6.5/10)県費980百万円(3.5/10))</p> <p>全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="1"> <tr> <td>平成26年度</td> <td>測量・調査・設計</td> <td>50百万円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>調査・設計・スマートIC連結道路、アクセス道路用地取得</td> <td>100百万円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>スマートIC連結道路、アクセス道路用地取得</td> <td>200百万円</td> </tr> <tr> <td>平成29~31年度</td> <td>スマートIC連結道路・アクセス道路工事</td> <td>650百万円</td> </tr> <tr> <td>平成32~38年度</td> <td>アクセス道路工事 駐車場整備用地取得・工事</td> <td>1,800百万円</td> </tr> </table> <p>既整備内容・期間・事業費 なし</p>				平成26年度	測量・調査・設計	50百万円	平成27年度	調査・設計・スマートIC連結道路、アクセス道路用地取得	100百万円	平成28年度	スマートIC連結道路、アクセス道路用地取得	200百万円	平成29~31年度	スマートIC連結道路・アクセス道路工事	650百万円	平成32~38年度	アクセス道路工事 駐車場整備用地取得・工事	1,800百万円	<p>(4) 事業位置等図</p> <p>凡例 事業評価箇所</p>		
平成26年度	測量・調査・設計	50百万円																			
平成27年度	調査・設計・スマートIC連結道路、アクセス道路用地取得	100百万円																			
平成28年度	スマートIC連結道路、アクセス道路用地取得	200百万円																			
平成29~31年度	スマートIC連結道路・アクセス道路工事	650百万円																			
平成32~38年度	アクセス道路工事 駐車場整備用地取得・工事	1,800百万円																			

2. 評価シート

<p>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当・妥当でない</p>	<p>(5) 整備手法の有効性 妥当・妥当でない</p>
<p>(理由) 本路線は、(仮称)甲府中央スマートICと新山梨環状道路とを連絡するとともに、リニア駅周辺地区ではメイン通りとなる。また、駅前広場並びにパーク&ライド駐車場はリニア駅周辺の交通結節機能として、極めて公共性が高い。</p>	<p>(理由) 連絡道路は、現道拡幅により最短距離で整備する一方、リニア駅周辺のメイン通りとなることから、自転車歩行者道の設置を行う。また、駅前広場、パーク&ライド駐車場はリニア駅と甲府中央スマートICに隣接しており交通結節機能として効果的な位置に整備する計画である。</p> <p>他の整備手法の有無 有・無</p> <p>(状況) なし</p>
<p>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 妥当・妥当でない</p>	<p>(6) 環境負荷への配慮 妥当・妥当でない</p>
<p>(理由) 県道の道路改築及び駅前広場、パーク&ライド駐車場の整備であり道路法第15条の規定により県が実施すべき事業である。</p>	<p>(理由) スマートICとパーク&ライド駐車場を直結させコンパクト化を図ると共に、連絡道路は、リニア駅周辺と調和のとれた良好な道路環境の確保に努める。</p>
<p>(3) 経済効率性 妥当・妥当でない</p>	<p>(7) 事業計画の熟度 妥当・妥当でない</p>
<p>(理由) (主) 甲府中央右左口線 ((仮称) 甲府中央SIC ~ 新山梨環状道路) ・費用(C) = 3.9億円 (内訳) 改築費 3.6億円 維持管理費 0.3億円 ・便益(B) = 8.3億円 (内訳) 走行時間短縮 7.7億円 走行経費減少 0.5億円 交通事故減少 0.1億円 ・費用便益比 (B/C) = 2.1 駐車場整備は交通結節機能の必要規模を整備するため、経済効率性の算定対象としていない。</p>	<p>(理由) (仮称) 甲府中央スマートICは、今年8月8日に国土交通大臣より連結許可を受けている。一方、リニア中央新幹線整備は、平成39年の開業に向けてJR東海が8月26日に工事实施計画を国土交通省に提出しており、認可を得た上で今秋にも事業着手の見通しである。また、山梨県リニア駅周辺整備検討委員会が設立されているなど事業計画の熟度は高い。</p>
<p>(4) 事業実施・規模の妥当性 妥当・妥当でない</p>	<p>《総合評価》 妥当・妥当でない</p>
<p>(理由) 既に連結許可を受けた(仮称)甲府中央スマートICと新山梨環状道路とを結ぶ連絡道路及びリニア駅とその周辺の交通結節機能となる駅前広場並びに駐車場の整備として必要な事業規模である。</p> <p>同等施設等(計画を含む)の有無 有・無</p> <p>(状況) なし</p> <p>必要整備量の根拠 (状況) (仮称) 甲府中央スマートICと新山梨環状道路とを結ぶ連絡道路は、現道拡幅であり最短距離L=500mの整備である。また、駅前広場、パーク&ライド駐車場はリニア駅と甲府中央スマートICに隣接し効果的な位置である。幅員等は道路構造令、山梨県道路構造基準条例及び駐車場法施行令による。</p>	<p>(理由) 7項目全て妥当と評価されることから、実施が妥当と判断する。</p>



凡例
 事業評価箇所 ■





大津町交差点 渋滞状況



T字信号交差点 渋滞状況



(仮称) 甲府中央 S I C 付近



現在の土地利用状況